



月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で jimou@geppou.asj.or.jp 宛。

なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送り下さい。

## 人事公募

でお送り下さい。選考は国立天文台運営協議委員会において行います。

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿下さい。結果は必ずお知らせ下さい。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

### 国立天文台地球回転研究系教授

1. 教授 1名
2. (1) 地球回転研究系  
(2) 東京都三鷹市または岩手県水沢市
3. 地球惑星科学
4. SELENE などの月・惑星探査に基づく研究を始め、また将来のスペースや月面における天文学も視野に入れつつ、新しい地球・月・惑星科学をリードする教授を求めます。
5. (1) 決定後なるべく早い時期
6. 大学院博士課程修了またはそれと同等以上の方
7. (1) 略歴書、(2) 研究歴（これまでの研究内容の概要を含む）、(3) 研究論文リスト（査読論文とそれを区別し、共著の主要論文には役割分担を記すこと）および主要論文別刷、(4) 研究計画書、(5) 本人について意見を述べられる人 2 名の氏名と連絡先、(6) 他薦の場合は推薦書のほかに、前記事項 (1)～(4) の概要がわかる書類。
8. 締切：2004 年 3 月 8 日（月） 必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台長 海部宣男  
(2) 〒023-0861 水沢市星ガ丘町 2-12  
国立天文台地球回転研究系主幹 真鍋盛二  
Tel: 0197-22-7133  
E-mail: manabe@miz.nao.ac.jp
10. 応募書類は封筒の表に「地球回転研究系教授応募書類在中」と朱書きし、郵便の場合は簡易書留

### 国立天文台研究員募集

国立天文台では、平成 16 年 4 月 1 日からの法人化に伴い新たな研究員制度を創設します。若手研究者に自主的な研究の場を提供し、多くの研究成果を上げることを通じて研究者としての基盤を確立することを主たる目的としています。なお従来あった国立天文台の各種研究員制度は本研究員制度に一本化されます。台内のプロジェクトからの申請（プロジェクト枠）は別にあります。それ以外には研究員募集は本件しかありません。

1. 若干名
5. (1) 平成 16 年 4 月 1 日以降  
(2) 3 年
6. 博士の学位を取得または平成 16 年 3 月 31 日（10 月取得の者はその旨記載のこと）までに取得見込み
7. (1) 履歴書、(2) 研究歴、(3) 研究論文リスト（査読論文とそれを区別）、(4) 主要論文のコピー、(5) 研究計画書（希望の分野・勤務地を明記のこと。併願の場合はそれぞれの計画書）、(6) 推薦書（ある場合は添付）（書類はお返ししませんのでコピーで結構です）
8. 平成 16 年 1 月 30 日（金）17 時まで必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台長 海部宣男  
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台企画調整主幹 観山正見  
Tel: 0422-34-3738  
E-mail: miyama@th.nao.ac.jp
10. 封筒の表に「天文台研究員応募書類在中」（〇〇分野）と朱書きし、郵送の場合は簡易書留で送付すること。
11. 新たな研究員は、助手の時間単価（期末手当等を含む）で週 30 時間の給与及び交通費が支給されます。

**人事公募結果****国立天文台位置天文・天体力学研究系助教授**

1. 2003年5月号(第96巻5号)
2. 和田桂一(国立天文台理論天文学研究系助手)
3. 2004年1月1日

**研究会・集案案内****高校生天体観測ネットワーク(Astro-HS)  
全国フォーラム2004 第1報**

私たちは、1998年のしし座流星群の観測を契機に、高校生の全国ネットワークを築いてきました。このネットワークは、教育・普及面の成果だけでなく、着実に科学的な成果も上げています。2003年度は、水星日面通過、火星大接近、およびベルセウス座流星群というさまざまなテーマに挑戦しました。また、来年度は金星日面通過や、肉眼彗星になる可能性も指摘されている二大彗星の観測を行います。

今年度実施した全国フォーラムに続き、第3回目のフォーラムを下記のように開催します。高校生による活動報告、交流会、関連するテーマでの指導者、研究者による発表、ならびに来年度の観測テーマについて、今年度参加グループのみならず、来年度からの参加を予定しているグループも、是非ご参加下さい。

## 記

期 日: 2004年3月21日(日) 14:00~18:00

会 場: つちやホテル

〒453-0014 名古屋市中村区則武 2-16-2

Tel: 052-451-0028 Fax: 052-451-9361

<http://www.tsuchiya-hotel.co.jp/>

内 容: ● Astro-HS 活動報告

- 観測会参加グループの活動報告
- 観測会参加グループの交流会
- 天文教育・普及に関する一般発表
- 次年度観測テーマに関連する発表
- 観測技術講習会

※生徒の研究発表は、ジュニアセッションで発表下さい。

発表形式: 口頭発表、ポスター発表

旅費補助: 限られた範囲内で、発表者、参加者(高校生を除く)に旅費・宿泊費を補助します。(宿泊はつちやホテルになります。)

宿 泊: 会場であるつちやホテルを Astro-HS で斡旋できる予定です。

参加・発表申込期限:

発表者 2003年2月16日(月)

参加者 2003年3月1日(月)

宿泊申込 2003年3月1日(月)

フォーラム詳細・参加申込用紙:

1月10日までに <http://www.astro-hs.net> に掲載します。

ダウンロードして、E-mail 添付か郵送にて、下記までお送り下さい。

問合せ・申込: 〒601-8348 京都市南区吉祥院  
観音堂町41

京都市立塔南高校 有本淳一

Tel: 075-681-0703

E-mail: [finfo2004@astro-hs.net](mailto:finfo2004@astro-hs.net)

※問合せは、できるだけ E-mail でお願ひします。

主 催: 高校生天体観測ネットワーク運営委員会

共 催(予定):

天文教育普及研究会、日本天文学会、日本惑星科学会、東亜天文学会

後 援(予定)

文部科学省・国立天文台、天文学振興財団、宇宙航空研究開発機構、日本理科教育学会、日本地学教育学会、日本理科教育協会、日本流星研究会、東京近郊地区流星観測者会、日本プラネタリウム協会、日本プラネタリウム研究会、全日本プラネタリウム連絡協議会、全国天体観測施設の会、全国科学博物館協議会、掩蔽観測グループ、日本 HOU 協会、京都大学附属花山天文台、通信総合研究所平磯太陽観測センター、太陽研究者連絡会、ライブ!ユニバース

※この事業は、平成15年度「子ども夢基金」の助成金によって行われています。

**名古屋大学星の会・21世紀COEプログラム  
公開講演会****「素粒子と宇宙—研究の最前線から」**

日 時: 2004年2月14日(土) 13:30~16:00  
(会場13:00より)

場 所: テレピアホール 名古屋市東区東桜1-14-25  
(地下鉄栄駅4番出口 徒歩7分)

対 象: 中学生以上 入場無料

定 員: 300名(当日、先着順にて受付いたします)

137億年の宇宙の歴史を読み解くために、素粒子と

宇宙物理学の研究者は日夜研究に没頭しています。宇宙初期の粒子反応は、星や生命をつくる物質の源です。さらに、宇宙に飛び交う宇宙線粒子は、ブラックホールなどの高エネルギー現象を知るための手がかりを与えます。名古屋大学の2名の研究者が、最新情報に基づいて研究の最前線を報告します。

第I部「素粒子の世界はどこまでわかってきたか」

講演 菊川芳夫(名古屋大学大学院助教授)

第II部「超新星爆発と宇宙線の起源」

講演 福井康雄(名古屋大学大学院教授, 21世紀COEプログラム拠点リーダー)

主催 名古屋大学星の会

後援 名古屋大学21世紀COEプログラム

「宇宙と物質の起源: 宇宙史の物理学的解説」

<http://coe.phys.nagoya-u.ac.jp/>

<http://www.a.phys.nagoya-u.ac.jp/nanten/>

問合せ先 〒464-8602 名古屋千種区不老町

名古屋大学大学院理学研究科

天体物理学研究室

Tel: 052-789-2840 Fax: 052-789-2845

E-mail: [higuchi@a.phys.nagoya-u.ac.jp](mailto:higuchi@a.phys.nagoya-u.ac.jp)

## その他

### 第45回科学技術映像祭参加作品募集

科学技術に関する優れた映像作品を募集。分野は「科学教育」「基礎研究」「科学技術」「医学」「ポピュラーサイエンス」の5部門。参加資格は日本所在の製作者、企画者(スポンサー)、テレビ局、学術研究機関、および個人が製作した作品で、2003年2月1日～2004年1月31日までに完成または放映したものである。応募締切は2004年1月31日まで。

3月中旬に最優秀作品賞1作品(内閣総理大臣賞申請中)、文部科学大臣賞14作品を発表

●問合せ先:

日本科学技術振興財団内 科学技術映像祭事務局

Tel: 03-3212-2454 Fax: 03-3212-0014

URL: <http://ppd.jsf.or.jp/shinko/pro/s-m/index.htm>

## 会務案内

### 早川幸男基金受給者募集要項

早川幸男基金への次回の申請締切りは2004年3月10日です。

以前の申請用紙を用いたものは認められません。詳細は、天文学会のホームページ <http://www.asj.or.jp/> の「早川幸男基金」の部分をご覧ください。募集対象期間は2004年4月1日～6月30日間です。

若手天文学研究者の皆様の積極的な応募をお待ちしております。

早川幸男基金選考委員会

2003年度天文学会にご寄付を戴いた方々です。ありがとうございました。深く御礼申し上げます。(敬称略/受付順)

佐藤明達(再掲) 大槻かおり 宮脇亮介 福田尚也  
西嶋恭司 松岡 勝 北村正利 横山央明  
福島登志夫 横川創造 阪本成一 百瀬宗武  
谷川清隆

## お詫びと訂正

2004年1月(第97巻1号)の天球儀と雑報に間違いがありました。お詫びして訂正致します。

「天球儀」35頁左側の上より9行目, 39頁(資料2)等,

(誤) 早川幸夫

(正) 早川幸男

「雑報」51頁左側6行目 須田拓馬氏の現在の所属,

(誤) 就職

(正) 北海道大学大学院工学研究科知識メディアラボラトリ

編集委員 土橋一仁(編集長), 上田暁俊, 大石奈緒子, 太田耕司, 亀野誠二, 濤崎智佳, 藤田 裕, 洞口俊博, 増田 智  
平成16年1月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会  
印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献印刷社  
定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会  
Tel: 0422-31-1359(事務所)/0422-31-5488(月報・欧文編集) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595  
日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 E-mail: [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)